

伝承 あずさ すかり

第二十五号

明日香村の伝承芸能と

万葉文化館

奈良県立万葉文化館

館長 及川あずさ

明日香村に伝承されている古代に始まった神事・民俗芸能・習わしを復元して保存し、未永く継承していく活動をされておられる明日香村

伝承芸能保存会の皆様には、春と秋の行楽シーズンの土曜日に、万葉文化館で定期公演を開催いただいています。今年も、当館の春のイベント「にぎわいフェスタ万葉」は、伝承芸能保存会の「万葉朗唱」で幕を開けました。麗らかな春の日和に、色とりどりの衣装を身にまとい披露いただいた公演を鑑賞された方々は、優しい歌声に包まれ穏やかな時間を過ぎされてきました。

昨年、開館二十周年を迎えた万葉文化館では、現在、銅板屋根の葺

き替え工事を行っています。「万葉朗唱」と「南無天踊り」は館の玄関前正面広場で公演いただくことが多いのですが、建物の周りに工事

用の足場が組まれていることもあり、最近では万葉庭園にある屋外の舞台「常盤の広場」での公演もお願いしています。万葉人の姿に扮した皆様が多々とした飛鳥の空の下で万葉歌を歌われる姿は、歌が詠まれた当時の情景を思い起こさせます。明日香の地ならではの不思議な力があるように感じます。

伝承芸能保存会の皆様の「八雲琴」の公演では、子どもたちも演奏に参加されており、地域に根付いた継承の活動をされておられることが実感されます。一生懸命に、そして堂々と琴の音を奏でておられ、日頃のお稽古の成果を發揮していただいております。明日香を訪れる方々に、いにしへの万葉の時代を体感できる朗唱や音楽を鑑賞していただきたいというおもてなしの心が伝わってきます。

私どもは、『万葉集』を中心とした古代文化に関する総合文化拠点と

して、国内外から多くの人たちが訪れ、楽しみ、学ぶことのできる施設を目指しており、調査・研究、展示、図書・情報サービスの3つの機能を併せ持っています。このうち、調査・研究において、『万葉集』を中心とした総合的古代学として、文学研究を超えた学際的・国際的な幅広い学問の協力による「万葉古代学」を提唱しています。

実は、当館における万葉古代学の研究として、二〇一八年から二年にわたって行われた館外の研究者やイラストレーターの方々への委託により実施した共同研究の中で、「明日香南無天踊り」が研究テーマの一つとなりました。その研究成果は、毎年一回発行している『万葉古代学研究年報』に掲載しています（『万葉古代学研究年報』第十九号、二〇二一年三月：万葉文化館第十一回委託共同研究報告）。記紀・万葉を取り扱ったアニメやマンガを取り上げながら、記紀・万葉がどのように受け止められ、発信されているかを研究するもので、研究の中で手がけられた伝承芸能保存会の方への「明日香南無天踊りの復活」取材マンガも掲載されています。途絶えていた南無天踊りを復活させ、次世代へ継承していくという伝承芸能保存会の皆様

の想い、他の地域にはない明日香村ならではの特長を分かりやすくまとめています。

これからも、万葉文化館の風物詩として伝承芸能保存会の皆様のご公演を私どもも楽しみにさせていたたくとともに、微力ながら、明日香村の伝承芸能の保存継承に資する取り組みを進めて参りたいと思います。



万葉庭園「常盤の広場」での南無天踊り (令和3年11月6日)

やくもこと 八雲琴

令和三年度・聖徳中学校総合学
習生の感想文で、昨年十二月に提
出された文章です。

伝承芸能保存会様

拝啓 朝晩の冷え込みが徐々に厳し
くなっており、寒い日もありますが、
皆様はいかがお過ごしですか。

今年も私達の活動にご協力いただ
き、ありがとうございます。ご協
力頂いたおかげで私達は色々なこと
を知ることができました。そして、
八雲琴を弾くのがどんどん上手に
なっていき楽しくなってきました。

私達の学習は学年発表会や文化
祭などを終えて、まとめの時期に入っ
ています。

自分達が学んだことを模造紙にま
とめて書き、たくさんの方々に見て
もらい、たくさん褒めていただくこ
とができました。褒めてくださった
時も、すごく嬉しく、次も頑張ろう
と思えました。

私達は二年間たくさんの方々に教
えていただき、今では八雲琴を知ら
ない人にも、八雲琴の魅力について、

伝えられるようになりました。そし
て八雲琴を弾く楽しさも、伝えら
れるようになりました。

伝承芸能保存会の皆様には長期に
渡り、本当に快くご協力をいただき、
私達は本当に心から感謝しており
ます。教えていただいたことは、これ
からの私達の活動に役立つと思いま
す。

三年生も、これからも八雲琴を続
けていきたいなど、二年間学習して
そう思いました。八雲琴の魅力も明
日香学を通してたくさん知ること
ができ、とても嬉しかったです。

これからも八雲琴の魅力を多くの
人に伝えられるように、精一杯頑
張りますので、引き続きご指導のほ
どよろしく願います。敬具

聖徳中B分科会八雲琴一同

八雲琴を学んで

河本輝藍

私は小学五年生の頃から八雲琴
を習い始めて今年で五年目になりま
す。習い始めたきっかけは、姉二人が
先に八雲琴を習っていて、発表会で
演奏している姿を見て私もあんな
風に弾けるようになりたいと、思っ

たことからです。初めはどうやって弾
いたらいいのか、カタカナだらけで書
かれた楽譜を、どう読めばいいのか
分からず、戸惑うことばかりでした。
でも何度も八雲琴に触れて、練習
していくうちに、弾けるようになって
楽しみなながら、弾くことができる
ようになりました。できるようにな
ればなるほど、曲の難易度もどんど
ん上がっていったら、おぼえるのに、かな
り時間がかかった曲もあります。で
もどんなに難しくても、頑張ってお
ぼえることに、達成感をおぼえるよ
うになりました。小学生の時はたく
さんの発表会に出て、たくさんの方
々に自分達の演奏を聞いていただ
くことができました。中学校に入っ
てからは新型コロナウイルスの影響
もあって発表会がなくなり、文化祭
だけの発表となってしまいました。
が、とても良い経験ができました。
文化祭前の忙しい時期にも、先生方
に優しく指導していただき、とても
良い演奏をすることができました。

今までの五年間、大変な事もたく
さんあった中で指導していただき、
本当にありがとうございます。こ
れからもたくさんの方に、八雲琴の
魅力を伝えていきたいです。

八雲琴の素晴らしさ

井上友里

私は、この二年間で八雲琴の素晴
らしさや楽しさ、奥深さを知り、感
じることができました。

私が分科会を選択するときには八
雲琴を選んだのは、私が小学生の頃
から、兄が八雲琴を弾いていたため
にか、八雲琴に強い興味と憧れを抱
いていたからです。

私が八雲琴を初めて弾く時、「絃



聖徳中学校 文化発表会 (令和3年10月28日)

を弾くだけの簡単な楽器だと思っ
ていたのですが、いざ弾いてみると
思ったよりもきれいでない音が出て、
すごく悔しかったです。

だんだん慣れて、きれいな音が鳴っ
てきた頃にまた、別の壁にぶつかり
ました。それは「速さ」です。八雲琴
の先生は「どうしたら速く弾けるよ
うになりますか。」と私に尋ねられ
ると、「これは慣れるしかないよ。」と
笑みながら答えられました。

できないことがどんどんと溢れてき
て、またすごく悔しかったのですが、
たくさん練習していくうちに上達
し、自分の知らないことを知ること
は悔しいことでも何でもなく、ただ
自分の成長につながっているのだと身
を持って感じました。

初めにも書いたように弾く強さ、
様々な奏法、場所により音が変わ
るといふ八雲琴の奥深さに心酔しま
した。

二年間という短い期間でしたが、
私は八雲琴を弾けてすごく幸せで
した。

また機会があれば八雲琴の魅力に
ついて友達や家族、明日香のことを

八雲琴の詳細は、次のQRコ
ードをスマホなどのカメラで
読み取り、表示して下さい。



万葉文化館定例公演 (令和3年11月20日)

あまり知らない人に伝えていきたい
と思います。

弾けるようになった楽しさ

上島沙弥香

私は、この二年間、八雲琴の楽し
さや、素晴らしさを初めて知りま
した。中学二年生で、初めて八雲琴
に触れて、とても嬉しく、わくわく
しました。

なぜ、八雲琴に入ったかという
お姉ちゃんが八雲琴をやっている
とても楽しそうに八雲琴を弾いてい
るのを見て、私も八雲琴をやってみ

など思ったからです。最初は、お姉
ちゃんたちがやっているのを見て、
八雲琴を弾くのは、簡単だと思っ
ていたけど、初めて八雲琴をやってみ
ると、どうするのがわからなくて、
全然弾けなかったけど、先生たちに
指導してもらって、だんだん弾ける
ようになってきました。色々な曲を
弾けていくようになって、とても八
雲琴を弾くのが楽しくなっていま
した。でも、速い曲になって、テンポ
が速くなると、手が追いつかなくな
り、どこを弾いているのかも分からな
くなる状況でした。ですが、先生方
が、ゆっくりと丁寧に教えていただ
いたおかげで、だんだんと弾けるよ
うになっていきました。そして、もっ
と色々な曲が弾けるようになってい
きました。さらに、八雲琴が好きにな
り、楽しくなりました。

高校生になっても、機会があったら、
八雲琴を弾きたいなと思いました。

八雲琴

脇田初枝

令和二年度は新型コロナウイルス
感染拡大防止のために、四月と五月
は公民館での稽古は出来ず、六月に
入ってからやっと稽古を再開するこ
とが出来ました。

密を避けるために、小学生三名は

和室に、中学生・高校生・大学生は
研修室第一から第三までの何れか
の部屋での稽古となりました。

久し振りなので、皆とても張り
切って八雲琴を弾いている様子が頼
もしく嬉しい限りです。

外部での演奏は、九月十九日・十
月十七日・十一月二十一日の定例
公演三回、十月二十八日聖徳中学
校文化発表会(総合学習生発表)、
十一月二十一日明日香村PRビデ
オ撮影とわずか五回のみでしたが、
子ども達はとても嬉しそうでした。

令和二年度は小学校での指導はあ
りませんでした。聖徳中学校総
合学習で三年生四名、二年生三名
が八雲琴についての勉強と弾き方の
習得に頑張ってくれました。

聖徳中学校を卒業となりました、
四名の感想文を載せさせていただきました。

明日香村伝承芸能保存会

八雲琴の先生方へ

拝啓 年末に向け、寒さの厳しい季
節となりました。

今年の明日香学において、八雲琴
のご指導ありがとうございました。
今年度は、練習や演奏が少なく残
念でしたが、童謡などを弾くことが
出来、とても楽しかったです。

先生方のご指導で八雲琴の演奏も上手くなりました。この伝統を受け継いでいくとともに広めていきたいと思えます。しばらく受験勉強のため練習を中断しますが、高校に入ってからでも続けたいというメンバーもいます。その際はご指導よろしくお願ひします。

まだまだ寒い日も続きますが、風邪など召されませぬようご自愛ください。

敬具

令和二年度十二月十六日

明日香学B分科会

八雲琴二・三年生一同

八雲琴

森田杏香

私は、八雲琴を小学三年生から習い始め、今年で七年目になります。習い始めたきっかけは姉が先に八雲琴をやっていて楽しそうに弾いているのを見て、私もやりたいなと思い習い始めました。始めは、触ったことがなく、楽譜もカタカナで書かれているなど難しく、なかなか上手く弾けませんでしたが、でも、練習を重ねていくうちにすらすら弾けるようになり、本番でも上手く弾けるようになって嬉しかったことを覚えています。そして、中学二年生になり、明



万葉文化館定例公演 (令和4年4月20日)

日香学でも八雲琴をしました。小学校の頃は同級生がいなくて楽しくないなと思ったりときもありました。でも、明日香学で入ってきたメンバーと一生懸命練習したり、発表のときにみんなと音を合わせたりと、振り返ってみるととても楽しかったなと思ひます。

八雲琴は私にとってもいい経験をさせてもらいました。それは八雲琴をやり始めた頃はとても緊張していましたが、だんだん人前で演奏することに慣れてきました。そして、自信もついて、今では人前で緊張す

ることは少なくなりました。高校生になったら忙しくなり、弾ける機会は減ると思いますが、続けていきたいなと思ひます。

八雲琴に触れてみて

井村優希

私は明日香学で初めて八雲琴を習いました。

以前に八雲琴の発表を見る機会があり、一度弾いてみたいと思ひました。初めて琴に触れた時は、絃の弾き方もツボを押さえる力加減も何も分からない状態でしたが、毎週土曜日にも練習に参加し、少しずつ弾けるようになりました。だんだん弾けるようになって、お琴を弾くことが楽しくなってきました。

私は人前で何かを発表するという経験がほとんどなかったのですが、八雲琴では何回も発表の場があり、最初はとても緊張しましたが、何回も経験することで自信がついてきたと感ひしました。八雲琴は、歌を歌いながら弾かなければならないところが、とても難しいと感ひしました。中学二年生から習い始めたばかりで、弾くことに精一杯で、歌まで歌うことが出来なかったことが、少し悔しく思ひています。

私が一番好きな曲は「菅搔六段曲」

です。習い始めて最初に習った曲ということもあり、愛着があるし、本手と替手があるので、とてもきれいに聞こえるので好きになりました。

二年間という短い間でしたが、丁寧に指導してくださった先生方や、優しく教えてくれた友達のおかげで琴を弾く楽しさを感じることができました。

八雲琴

車井真歩

私は、この二年間明日香学で八雲琴を学びました。八雲琴を習い始める前は舞台上で演奏しているのを見るだけでした。でも、どんな風に弾いているのかすごく気になって、二年生の時に初めて八雲琴に触れました。最初はすごく簡単に弾いているように見えました。しかし、いざ弾いてみるとすごく難しく手が止まってばかりでした。速いテンポの曲になるとまったく追いつけず、どこを弾いているのかも分からない状況でした。ですが、そんな時に八雲琴の先生方は優しく教えてくださいました。そのおかげで私はたくさん曲を弾けるようになりました。また、八雲琴を練習していくうちに、みんなで心を一つにすることが大切だと分かってきました。

八雲琴を弾きはじめる時や難しい曲を弾く時などは、みんなの音がそろっていないと、ばらついてしまいます。心を一つにすることで、聞いているお客さんに美しい音色が届けられると思います。

高校生になると、八雲琴を練習する時間は限られてしまいますが、また八雲琴を弾きたいです。

八雲琴

森岡愛純

私は、この二年間で八雲琴の素晴らしいことや楽しさを、知ることができました。

私がお琴を始めたのは中学二年生になってからで、始めた頃の頃はツボの場所が全く覚えられず「さくら」を弾けるようになるまで、すごく時間がかかりました。しかし、練習を重ねるうちにツボの場所もわかるようになり「さくら」以外にもいろいろな曲が、弾けるようになりました。今では、替手も弾けるようになり、始めは難しかった琴が、とても楽しいものになりました。

今年には新型コロナウイルスの影響で発表会がなくなり、あまり発表する機会がありませんでしたが、聖中祭での発表や童謡の演奏など、とても良い経験ができました。

先生方の優しいご指導がなければ、ここまで頑張ることはできませんでした。高校に入ると今よりも練習に参加できる回数は減ると思いますが、これからも続けていきたいと思っています。

今まで指導していただき本当にありがとうございます。八雲琴について知り、その伝統を発表会などで、たくさんの人に伝えられたことを誇りに思っています。

本当に楽しく、心安らぐ素晴らしい時間でした。本当にありがとうございました。これからもよろしくお祈りします。

令和三年十二月に明日香小学校五年生の生徒さんと八雲琴の勉強会を行いました。

明日香小学校五年生の担任の先生方のお礼状は万葉朗唱の頁に掲載しております。

明日香小学校五年生の皆様からのお手紙を紹介いたします。

野村先生へ

戸毛陽奈子

いそがしい中、琴のことをたくさん教えてくれて、ありがとうございます。琴の種類や、琴ができたことなど、いろいろなことが、知れました。

私は八雲琴を、この話を聞いて初

めてしれました。爪を左右につけることや、左右の爪に名前が付いていることが、とてもびっくりしました。知らないことや、びっくりしたことが、多かつたけれど、たくさんのが知れて嬉しかったです。

八雲琴の皆さまへ

神田 恋

前に八雲琴の事をくわしく教えて下さってありがとうございました。

私が聞いた中で、一番驚いた事は、八雲琴の音階は、「ドレミファ」ではなく、「ヤクモコ」やいろいろな言葉で表すという事に、驚きました。他にも、八雲琴を使っている曲が、約200以上あるという事に知れてよかったです。

前は丁寧に教えて下さり本当にありがとうございます。ありがとうございました。

八雲琴の野村先生へ

寺田空悟

前はコロナで大変にもかかわらず、来て教えてくださってありがとうございます。八雲琴は二本しか弦がないので、おぼつかしいんだろーと思いましたが、さらに、八雲琴は伝統で、これからは守っていかないといけないと分かりました。ありがとうございました。

八雲琴のみさんへ

和佐文香

先日はわたし達に八雲琴のことについて、教えていただきありがとうございました。

みなさんに八雲琴を残していきたい



いと聞いて、これから、わたし達が、みなさんの思いをしっかりと受けついで、未来に残していきたいなあと思いましたが。本当にありがとうございます。

八雲琴のみさんへ

渡辺鈴音

学校まで来てくださってありがとうございます。ありがとうございました。

あまり七七七とか、覚えていなくて、不安だったけど、教えてくれたながら七七七を言ってくれていて上手に弾けることができたと思います。もっと上手にひくために、強くひくとか、こつをおしえてくれたので、分かりやすかったです。教えてくださったおかげで、初めより楽しく上手に弾けました。ありがとうございます。

八雲琴のみさんへ

垣内いろは

前は八雲琴を教えてくださってありがとうございました。

たくさんの曲を演奏してすごくいいなと思いました。そして、私ごとくにごいなど思ったりは、琴に、ドレミファソラシドがあることを聞いて、ピアノでひいたことのある曲でも、ひくことができると思いました。

私は少し質問があるのですが、「転管」や「龍爪」ひいている時、手はいたくないのだろうか。それが私は気になりました。

八雲琴のみさんへ

前田弥咲

ありがとうございます。

この前は、ていねいに、八雲琴のお話をしてくださって、ありがとうございます。

八雲琴はふつうの琴とはちがって、左手にもつけたり、音はいろんな音が出せたりして、すごかったです。私がおどろいたことは八雲琴の曲が、二百五十曲くらいあるのが、とてもおどろきました。ありがとうございます。

八雲琴のみさんへ

福井菜那子

八雲琴はいろいろな音階を出せたりするのが凄いなと思いました。また私もやりたいなと思いました。そして、八雲琴の楽譜を作った

山本雨宝さんがすごいと思いました。また昔は竹で作られていると教えてもらって、びっくりしました。また八雲琴の先生の衣装が、とてもきれいでした。

ありがとうございます。

万葉朗唱

まんようろうしゅう

明日香村伝承芸能保存会万葉朗唱は、令和三年十二月二十日に、明日香小学校から、お招きいただきました。そして、五年生の生徒の皆さまと一緒に、「万葉朗唱」を楽しみました。

その後、皆様から、お礼のお便りを頂きましたので、ここに紹介いたします。

次の明日香小学校五年生の担任の先生方からのお礼状は、八雲琴と共通しております。

一年間ありがとうございます。

春の気配を感じる今日この頃となりました。

この一年間、明日香小学校五年生の学習「あすか科」に支援いただきました。ありがとうございます。

今年度は新型コロナ対策のため、学習活動にさまざまな制限がありました。子どもたちの学習にも影響がでました。そんな中、できる限りの対策をしたうえで体験、経験をさせていただけの機会を設けていただきましたこと、担任として心から感謝申し上げます。子どもたちが「虎の巻」を作成し

ました。慣れないパソコンを使いながら、学んだこと。感じたこと、伝えたい明日香の魅力を、ポイントにまとめました。おかげさまで、拙いながらも子どもたちなりに、一つの形に残すことができました。お礼の気持ちを込めて書いたお手紙も読んであげてください。

最後になりますが、まだまだ新型コロナウイルス感染予防に気を付けなければなりません。来年後も引き続き、支援いただけますようお願い申し上げます。

季節の変わり目、お身体ご自愛くださいませ。

明日香小学校五年生
担任一同

万葉朗唱の詳細は、次のQRコードをスマホなどのカメラで読み取り、表示して下さい。



明日香小学校五年生のみなさまからのお便りを紹介いたします。

万葉朗唱の皆さんへ

森田実桜

万葉朗唱はずっと昔の人が考えた、人と自然を大切にしたい朗唱と分かりました。明日香のみ力が、たくさんあらわされていて、



令和3年12月20日 明日香小学校

「万葉朗唱のみなさんへ」
と伝わりました。
万葉朗唱は、約千年前につくられて、古くから、人々に大切にされてきた、万葉朗唱と分かって、「昔から大切にされてきたから、これからも万葉朗唱を大切にしていきたい」と気づきました。
万葉のことをおしえてくださって、ありがとうございました。

万葉朗唱のみなさんへ

奥田龍輝

明日香村の万葉歌碑を歩くというパンフレットをもらって、野球の無い日に、さがしにいこうと思いました。明日香小学校に、万葉歌碑があると、はじめてしりました。明日香小学校の万葉歌碑は、ただのらくがきだと思っていたけど、べんきょうして、らくがきされてる石じゃないのをしりました。
ぼくは万葉朗唱で、明日香の万葉朗唱が、こんなにいっぱい万葉朗唱があることを、はじめてしりました。せつめいをしてくださったり、ほかにもしてくださり、ありがとうございました。
また、犬養万葉記念館とか、いつてみたいと、おもいます。

万葉朗唱のみなさんへ

中井悠織

万葉朗唱の事をくわしくおしえていただき、ありがとうございます。万葉朗唱を、歌って下さったり、いろいろな事を知ることができました。とてもきれいな服を、着せてもらったり、とてもうれしかったです。

万葉朗唱の方へ

森井まもり

勝川さん達へ

松本胤真

この前は明日香小学校へ来てくださって、ありがとうございます。万葉朗唱の魅力、たくさん伝わりました。
明日香小学校の中庭にも万葉朗唱歌碑があることを、初めて知りました。万葉朗唱のことも知ることができました。
歌い方も美しいって、感じでした。改めて真にありがとうございます。

勝川さんへ

福井結生

万葉朗唱のことを教えてくださり、ありがとうございます。
私は短歌が元々好きじゃなかったけど、勝川さんの話を聞けて、とてもよかったです。また短歌の話を聞きたいです。話を教えてくださって、

ほんとにありがとうございます。

五年生の皆様の素晴らしい手作りの冊子になっておりますので、七月の美術展に出展させて頂きます。

なもでおど

南無天踊り

令和四年度公演予定
六・九・一〇・十一月 第四土曜日
時間 午後一時三十分～二時十五分
公演場所 奈良県立万葉文化館

詳細は、次のQRコードをスマホなどのカメラで読み取り、表示して下さい。



あすかけまり

飛鳥蹴鞠

令和四年度公演予定
五月四日・里山あそび春
九月下旬・里山あそび秋
その他、修学旅行や遠足などの蹴鞠体験受け入れを行っています。

詳細は、次のQRコードをスマホなどのカメラで読み取り、表示して下さい。



たまゆら

明日香の 龍神と雨乞い

明日香村伝承芸能保存会
会長 岡崎義男

今日は初夏を思わせるような晴天です。



ひさしぶりに岡寺にお参りしました。牡丹とシヤクナゲが満開です。観光客が引きも切らず訪れています。



本堂横に龍蓋池があります。この池は昔、義淵僧正が、ここに棲んでいた大蛇を退治したという伝説



に封じ込められている龍が昇天して、雨を降らせてくれるという話はよく知られています。



橋に龍神王の石碑があります。

があり、地底に井戸があつて、大きな石で覆つて、その石をカナテコで、コトコトいわせたり、動かしたりすると、井戸の中



川原寺の東南に龍神を祀る祠があります。龍神社です。

早(ひでり)の時は飛鳥川の水を汲んで龍神にかけて、降雨を祈りました。



下平田の国道169号線沿いに榎龍神の大きな石碑があります。交通量が多いので、見過ごしがちです。



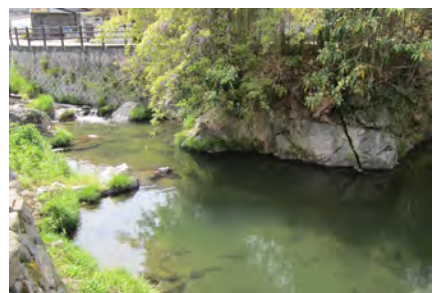
豊浦には難波池があります。早の時、この池の水を変えると、必ず雨が降るといい、村中の人々が集まって、水替え桶を使って、すっかり水を汲み出し、新しい水に入れ替え、そのきれいな水を神社にお供えし、向源寺の住職が読経すると、翌日には必ず雨が降ったといわれています。



豊浦ではクモヤブチと言って、村中の人々が松明を持って、ヒフ

り山に登って、降雨を願ったと言われています。

坂田と祝戸では共同で、松明を持って雨乞いを行いました。専称



寺前の飛鳥川にホーラク淵があります。ホーラクさんと呼ばれています。そこに、藁で作った竜を担いで行き、川につけて、降雨を祈りました。この藁で作った竜は本誌一面の万葉庭園の「常盤の広場」南無天踊りの写真参照。

まだまだ、雨乞いにまつわる話はあるそうです。調べてみたいと思います。

「伝承あすか」第二十五号

発行 令和四年五月

明日香村伝承芸能保存会

会長 岡崎義男

編集 明日香村伝承芸能保存会
題字 「伝承あすか」勝川喜昭書